

第1回 穴水町未来づくり会議 ～ 新しい学校への夢を語り合おう ～



開催概要

日 時：令和6年11月30日（土）

会 場：穴水町役場3階大ホール

テーマ：「新しい学校への夢を語り合おう」

内 容：当日は28名の参加があり、5つのグループに分かれて意見交換を行いました。

「新しい学校はどんな場所になると良い？」「どんな学びの場・生活の場を子どもたちに用意したい？」「地域住民にとっての学校はどんな場所？」「先生が働きやすい学校とは？」「穴水町だからできること、目指したいことは？」などの視点で、各グループで新しい学校への夢を語り合い、その内容をグループの代表者が発表し、参加者全員で考えを共有しました。

グループ名 シニアプラス+

キーワード

大人も子どもも行きたい学校



オープンで住民とともに使える、大人も子どもも行きたい学校を目指したい。

【 施設面 】

- ・観覧席のあるアリーナ
- ・ステージを備えた多目的ホール
- ・静かに自習ができるスペース
- ・体験活動ができるスペースや設備
- ・明るく広いスペースや子どもたちが集まれるスペース
- ・木の香りや暖かみのある学校
- ・防災に強い学校
- ・屋内遊具や地域の人も健康用具を利用できる環境
- ・全天候型運動場
- ・鍵がなくても安心な学校
- ・保健室が学校の中心にある
- ・教室を固定化しない

【 地域として 】

- ・地域の人々が先生として支援したくなる学校
- ・体育館以外にも地域の人々が利用できる・集える施設
- ・気軽に来れる雰囲気
- ・穴水町の特色を生かした「まいもんの里」
- ・小中学校だけではなく、幼保や高齢者施設との連携

【 子ども目線 】

- ・子どもたちが自分の学校を自慢できる学校
- ・安心してのびのび楽しく活動したくなる学校

キーワード

児童や先生だけでなく、
町民全員が過ごしやすいと思える学校

思い出に残る、卒業した時に
通ってよかったと思える学校



【 コミュニケーション 】

- ・住民と児童が交流しやすい施設
- ・気軽に行ける職員室
- ・コミュニケーションが図りやすいオープンな職員室や校長室

【 学習環境 】

- ・低学年は外遊びがしやすい環境
- ・夜も利用でき、高校生も自習等ができる場所があるとよい
- ・すみっこの席が多い図書室、やわらかいイス
- ・運動ができる施設（広めの体育館）
- ・特別教室がまとまっている

【 通信環境 】

- ・ネットワーク環境が整っている施設

【 自然 】

- ・木材の活用
- ・自然を取り入れた施設

【 動線 】

- ・移動距離が短くて、わかりやすい
- ・開放的な階段
- ・低学年と高学年に分けて玄関を設置し、下足入れの高さを成長段階に合わせる

【 避難 】

- ・避難する際に危険が無いようにするため、屋内外の段差が少ない
- ・体育館を避難所として利用した際に、直接出入りできる玄関があると良い

【 設備 】

- ・教室内でも暑い席と寒い席があるので、そうならないような空調の整備
- ・掃除がしやすい
- ・混雑しないように全階にトイレを設置
- ・冬は温水が出る

キーワード

みんなのゆめ



【 明るい学校 】

- ・植物がないと暗い学校になってしまうから、植物がいっぱいある学校
- ・ハッピーな学校
- ・ケンカがない学校
- ・協力できる学校
- ・華やかな学校
- ・人と人が友達になれる学校、友達がいないと悲しいから

【 授業や活動 】

- ・いろんな授業で協力できる学校
- ・ペットを育てる学校、魚を飼ってみたい
- ・体育でかくれんぼをしたい

【 遊具 】

- ・外に出て遊びたいけど、遊具がなかったら面白くないから、グラウンドに遊具がいっぱいほしい
- ・遊具や遊び場は、いつも遊べる日が決まっているから、遊具や遊び場がいっぱいある学校
- ・体育館に公園みたいな遊具がある
- ・床がトランポリンになっている
- ・大きい遊具があるとよい、小さいのはつまらない

【 みんなでつくる 】

- ・みんなで協力できるから、図工の時間にキッチンをつくるという学校

【 施設 】

- ・地震がきても大丈夫な学校
- ・でかい教室や体育館がほしい
- ・プールがほしい
- ・学校のまわりに木が生えてほしい
- ・静かな学校がよい、うるさいと授業に集中できない

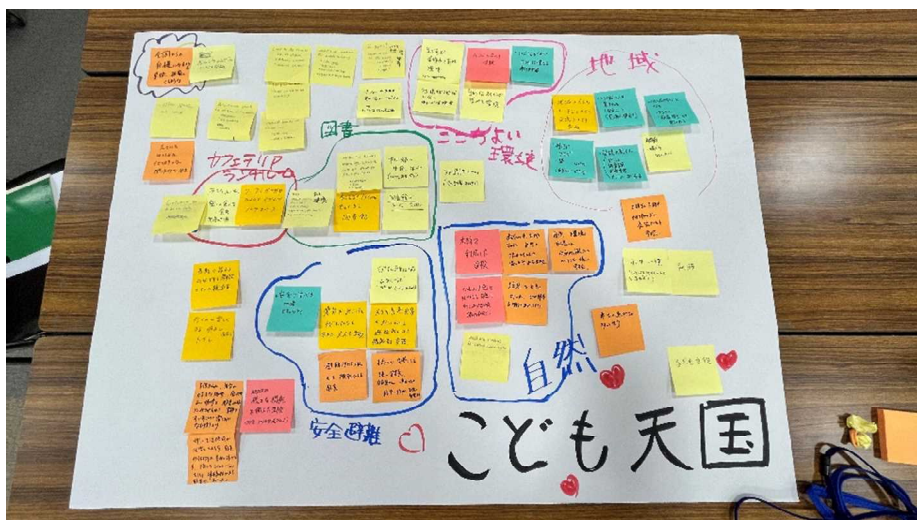
【 安心安全 】

- ・火事になって学校が燃えるから、木の学校にはしない
- ・小さい学校がよい、大きいと迷ってしまう
- ・すぐ避難ができる学校、出口が遠いと下敷きになってしまう
- ・山ではなく、町に建てたほうがよい、凶暴な動物が来るかもしれない

キーワード

全国に自慢できるような学校

復興のシンボルとして、
明るくて楽しい、素晴らしい、
全国に誇れるような学校



【 心地よい環境 】

- ・机やソファ等が色々な形や色のものがある
- ・屋内芝生や大きいイス、クッション、レストランのようなボックス席等がある
- ・正しくきちんとすることだけではなく、自由なスタイルで学べる環境
- ・学ぶ意欲や創造力を伸ばせる環境、多様性の時代に合う環境
- ・小中一貫で異年齢同士でふれあえる、社会の仕組みも学べる環境
- ・教室以外にも自分が好きな場所や居心地のよい場所を見つけられる間取り
- ・静かな子もスポーツ好きな子も創造性がある子、すべての子が居心地の良い学校
- ・行くのが楽しくなるような明るく清潔なトイレ

【 地域 】

- ・学校が地域の中心となり、子どもたちが住民や商店街と関われる学校
- ・学校周りにプール、体育館、図書館、ホールなどがあり、クラブや塾の活動ができる

【 安全 】

- ・震災がおきても子どもたちを守れる丈夫な学校
- ・災害時に避難所として機能する学校（備蓄、プールの水の活用）

【 自然 】

- ・木材の利用した木の香りがする校舎
- ・穴水の自然を生かした、町の風土に溶け込むやさしい学校

【 施設 】

- ・全国から注目され自慢になる、視察に来るような学校
- ・復興のシンボルになる学校
- ・広々してゆとりのある仕切りのない開放的な教室
- ・寒さや音環境などに配慮した学校にしたい
- ・カフェテラスやランチルームでは地産地消のメニューがあり、そこでは食育ができて、みんなでワイワイガヤガヤと楽しく食べられ、来ることが楽しくなるような学校
- ・カフェやジムもあり、様々な活動ができる
- ・図書館が中心にあり児童が交流できるスペース
- ・学校の中心にいつでも遊べる中庭やホールがあると良い
- ・外国語専用教室など各教科ごとに専用の教室があり、授業によって教室を移動する

キーワード

だれひとり取り残さない
開かれた明るい遊べる学校



【 木材活用 】

- ・県産材を使用した建物

【 地域交流・居場所 】

- ・学校に学童がほしい、今は遠くまで通っていて、安全性に不安がある
- ・地域コミュニティの中心となり地域の人も来られる学校、多世代で学べる施設
- ・小中学生や高校生の居場所、自習スペース（地震で小中高が一緒のときに、子どもは年上の子と交流する機会が楽しかったようだ）
- ・真面目に勉強する子だけではなく、個性を生かしたり、その子の才能を伸ばしたりできるような学校

【 地震災害 】

- ・地震に強く、防災拠点となる施設
- ・地域の人も避難できる学校、
- ・避難所となった際も協力して運営できるような業務継続マニュアルが必要

【 明るい学校 】

- ・明るい校舎、保護者も行きやすい学校

【 遊び 】

- ・使い方が1つだけではない遊具
- ・屋内遊具もあり休日も親子で遊べる場所
- ・遊びながら学べる遊具や体力がつく構造の遊具

【 スポーツ 】

- ・水はけがよいグラウンド
- ・温水プールやボルダリング
- ・スポーツ施設の充実した学校

【 空間・設備 】

- ・図書の充実、楽しい図書室
- ・冒険感のある建物空間
- ・「ダメ」と言わない学校の造り
- ・快適な学習環境とするために、空調の効率化と防音対策が必要
- ・ゴロンとできるリラックス空間
- ・温水の手洗い
- ・外から授業風景を気軽に見ることができるアプローチの工夫